

「元気な八戸づくり若者シンポジウム」市長賞
「冬の八戸を元気に～おいしいあったかいイベント～」が実現しました。

2025年2月17日、八戸市中心街のマチニワで、表題のイベントが実現し、用意されたせんべい汁とブイヤベースは完売となる盛況のイベントとなりました。収益の一部は能登半島への寄付となるとのことです。

このイベントは、2024年に開催された「元気な八戸づくり若者シンポジウム」(主催:NPO 法人地域活性化教育支援ネットワーク REN)にて、八戸工業大学の学生が提案したものです。八戸の寒い冬を暖かく過ごすために、若者も気軽に地域の名物である暖かいスープを楽しめるために、学生たちが考えたイベントです。右の図は発表時のポスターです。

この発表は同シンポジウムの市長賞に選ばれ、「はっち」の皆さんをはじめとする多くの皆さんのご協力を実現することができました。

当日は、八戸地域の伝統的な豊作祈願のお祭りの「えんぶり」の初日で、会場となったマチニワでも、中学生のえんぶりが披露されるとあって、多くの市民や観光客が訪れていました。提案した学生たちは卒業に向けた別の活動のため不在となってしまいましたが、代わって下級生5人が、混雑している会場内外で、案内、誘導、清掃などを担当し協力してくれました。関わった学生たちも、先輩の提案が具体的に実現できたこと、関係の皆さんや市民とのかかわりを通して活動できたことを喜んでくれました。

若者の提案を受け止めていただき実現いただけたことは、提案した学生はもちろんのこと、地域の若者にとって大きく勇気づけられたことと思います。RENでは、引き続き若者の提案を受けとめ、優れた提案の実現に向けて努力し、地域の活性化に役立てたいと考えております。今後とも、ご理解ご協力をお願い申し上げます。



【写真】 左:多くの市民が来場したマチニワ、中央の奥で販売。 中:販売コーナー、行列ができる時も。 右:ブイヤベース、一杯 800 円。美味しい、あったかいスープでした。